

# いわちゃん ポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員



**略歴** 1970年(昭和45年)生まれ 県立君津高卒  
専修大卒、早稲田大大学院 政治学研究科修了

事務所連絡先 Fax: **0476-36-7802**

HP: <http://www.iwai-y.jp> メール: [mail@iwai-y.jp](mailto:mail@iwai-y.jp)

印旛郡栄町安食台 2-26-23 (栄町役場前大山ビル 2F)



twitter



blog



LINE 公式アカウント



facebook

## おかげさまで**トップ当選**～前回比5千票の上積み

4/9 に投開票が行われた千葉県議会議員選挙。1万6千票余りの得票により当選することができました。今回は、自身としての選挙総括と選挙期間中の舞台裏についてのご報告です。

	岩井やすのり	自民	16,413 (43.3%)
	滝田としゆき	自民	12,276 (32.4%)
	千代川むねよし	無所属	9,236 (24.3%)

### ●選挙毎に得票を伸ばしている事は大きな自信

岩井が初めて立候補したのは、平成 16 年の栄町議選挙です。地域内には知り合いもほとんどおらず、せいぜいが当時勤めていた学習塾の保護者関係者くらい。それでも 34 歳という若さに期待いただき、668 票の得票にて初当選することができました。それ以来、今回で 6 回目の選挙となりましたが、前回の 11,744 票から 5 千票近く上積み



して 16,413 票の得票でトップ当選。668→705→5,669→8,980→11,744→16,413 と選挙を経るごとに得票を伸ばしてきていることは、自らの大きな自信となっています。

### ●問われるのは選挙活動ではなく、日頃の活動



今回の選挙戦でこれまでになく多くいただいたのが、市民からの「(期日前投票にて)もう入れましたよ!」との応援の声です。期日前投票の制度が一般化したことを示すとともに、選挙期間(告示日)を迎えた時には、すでに投票先を決めているケースが多いことの表れ。有権者の目は肥えており、直前の「選挙運動」ではなく「日頃の活動」が問われているものと理解しています。

今回のトップ当選が、いわちゃんポストの発行配布や地域課題についての取組みなど、自身の日頃からの活動をご評価いただいたものであるならば、何より嬉しく感じるどころです。

# トラブル続きの選挙戦 候補者は虫垂炎で入院も

## ●選挙カーが木と接触 一時走行不能に



さて、結果を残すことができた県議選でしたが、その道中ではトラブルが続きました。

まずは選挙戦 5 日目に起きた選挙カーの接触事故。岩井選挙カーが飲食店の駐車場内にある木の幹に接触し、スピーカーを乗せた看板部分が後ろにずり落ちて走行不能に。別行動をしていた岩井の下に連絡が入り、現場へ急行。まずはご迷惑をおかけしたお店の皆さんに深く謝罪しました。

車の方は看板自体に損傷がなかったのが不幸中の幸い。駆け付けられた業者さんの迅速な対応により、当日中に活動を再開する事ができました。

## ●もう少し遅ければ腹膜炎の可能性も…

選挙戦 6 日目となった 4/5 には、ウグイスさんが体調不良に。新型コロナの罹患も疑われたためその日は離脱してもらい、残った方々で何とか対応することに。これまた不幸中の幸いで、ウグイスさんの体調に大きな問題がなく、翌日には復帰

してもらえることとなっています。

ただ、後にして思えば、自身の体にもそれなりの負担がかかっていたのかもしれない。同夜、床に就いてしばらくすると、へその上あたりの激しい痛み、背中から腰にかけての鈍痛に見舞われることとなります。寝ては覚め、寝ては覚めを繰り返すうちに明け方を迎え、駅頭活動を予定していた印西牧の原駅に向かうものの、現地に到着してもなお続く痛みには耐えきれず、駅での活動を中止して帰宅。大動脈りゅう破裂などの重病の可能性も否定できない中、午前 7 時過ぎに後援会長、選挙責任者に相次いで連絡。これまでの状況を説明し、救急車を呼ぶことを伝えます。

病院での検査の結果、急性虫垂炎であることが判明し、手術、入院。麻酔による副反応もなく、腹腔鏡手術により体への負担も小さく、わずか 1 泊 2 日にて退院。4/6・7 と丸 2 日間、候補者不在となったものの、街頭演説会など選挙戦最終日の予定を無事こなすことができました。

ただ、お医者さんいわく、もう少し遅ければ腹膜炎を起こす可能性もあったとのこと。自らの健康管理ができていなかったことに、深く反省したところでもあります。

選挙後はご報告、ご挨拶回りを重ねながらリハビリしてきましたが、印西市議選が終わった 4/24 以降、駅頭や街頭での活動を再開する予定。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします！

※今回号は政務と関係のない記事内容であるため、政務活動費は一切使用しておりません。

